



# 自己評価書作成に当たっての 留意点について

2008年12月9日

自己評価担当者研修会



# 一般的留意事項







# 自己評価書の公開

提出して頂く自己評価書は、評価終了後、  
評価結果と共に、大学評価・学位授与機構  
のHPにおいて、原文のまま公開します。



# 自己評価書だけで分かるように

当事者以外は別添資料を参照することは困難ですから、自己評価書だけで大学の状況の概略が分かるように記述して下さい。





# 観点ごとの分析

- 【観点に係る状況】には客観的事実のみを記述し
- 【分析結果とその根拠理由】で自己評価する
- 大学が当然に実施している事柄に関する記述は出来るだけ簡略(あるいは省略)にして、貴学の特色が明確になるように記述して下さい。



# 記述はありのままを！

- 実状を**ありのまま**に記述して下さい → 評価者(Peer) → 状況が目には浮かぶ → 評価し易い
- 「**創作**」を含む記述 → 評価者(Peer) → 状況が目には浮かばない・訪問調査で実状が分かる → 心証悪化





# 記述は**具体的に**！

## 具体的でない記述の例：

- 学生による授業評価の結果を踏まえて、授業改善を実施している。
- 評価結果を改善に活かしている。
- 活発に活動している。
- 多くの成果を上げている。
- 高く評価されている。
- 学生の満足度が高い。



## 具体的でない記述に対しては・・・

- 具体的な説明を求める → 二度手間

又は

- 評価対象としない → 折角書いたのに・・・





# 「優れた点」

- 当該大学の目的に照らして、優れていると思われる点
- 大学改革への先進的な取組
- 一般的見地から見て、優れていると思われる点
- 特色ある取組



# 「改善を要する点」

- 法令違反状態にあり、速やかに改善すべき点
- 法令違反状態とまではいえないが、速やかに改善が必要であると思われる点
- 一般的見地から見て、改善が必要と思われる点
- 当該大学の目的に照らして、改善が必要と思われる点
- 当該大学の目的に照らして、更なる向上に向けて取り組んでいる点





# 「優れた点」「改善を要する点」

「優れた点」「改善を要する点」を記述する場合には、その内容を必ず「観点ごとの分析」の中に記述して下さい。

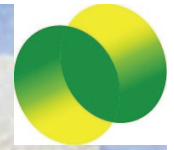


# 「更なる向上が期待される点」

評価の過程において、「改善を要する点」の中などから、「更なる向上が期待される点」を取り上げることがあります。

- 当該大学の目的に照らして、更なる向上が期待される点
- 「Good」を「Excellent」にする取組に着手しており、ある程度の成果が上がっていることが前提
- 頑張れ！ もう一歩で「優れた点」になれる！





# 資料の引用も具体的に

例：

本学の目的は、学則(資料1-1-1-A)、『小平大学概要』(別添資料1-1-1-5、p.5)、小平大学ウェブサイト(別添資料1-1-1-6、[http://www.niad.ac.jp/n\\_hyouka/daigaku/1178542\\_833.html](http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/daigaku/1178542_833.html))、及び『学生便覧』(別添資料1-1-1-7、p.12)等に記載している。その内容は「……………」である。

資料1-1-1-A

本学の目的は、学術の中心として、……………  
……………  
……………。

(出典 小平大学学則)



# 資料について







# 必要最小限の添付資料

- 添付資料は、一覧表を付けて見易い形に整理し、バインダー等にまとめて下さい。
- 大部の冊子については、自己評価書に記載している内容を確認するのに必要な箇所のコピーを添付し、冊子本体は訪問調査時に閲覧できるようにして下さい。
- シラバス、学生便覧、時間割等は各2部提出して下さい。尚、これらが電子版やWeb上でのみ提供されている場合には、印刷して提出する必要はありません。
- ウェブサイトを引用する場合には、コピーを添付するか又は URL を明示して下さい。